

使用上の注意改訂のお知らせ

2025年11月 沢井製薬株式会社

副腎皮質ホルモン・抗ヒスタミン配合剤 処方箋医薬品 ベタメタゾン・d-クロルフェニラミンマレイン酸塩配合錠

エンペラシン®配合錠

この度、下記のとおり使用上の注意を改訂致しますので、お知らせ申し上げます。

1. 改訂内容(下線部改訂又は追加箇所、取り消し線部削除箇所)

改訂後	改	訂	前
8. 重要な基本的注意	8. 重要な基本的注意		

8.3 本剤の長期あるいは大量投与中の患者、又は投与中止 後6ヵ月以内の患者では、免疫機能が低下していること があり、生ワクチンの接種により、ワクチン由来の感染 を増強又は持続させるおそれがあるので、これらの患者 には生ワクチンを接種しないこと。[11.1.1参照]

26 ≣T 终

10. 相互作用

ベタメタゾンは、主としてCYP3A4で代謝される。

10.2 併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
非脱分極性筋弛緩 剤 ロクロニウム臭 化物	筋弛緩作用が減弱 又は増強するとの 報告があるので、 併用する場合に は、用量について 注意すること。	機序不明。
キノロン系抗菌剤 レボフロキサシ ン水和物、 メシル酸ガレノ キサシン水和物 等	腱障害のリスクを 増加させるとの報 告がある。これら の薬剤との併用 は、治療上の有益 性が危険性を上回 る場合のみとする こと。	機序不明。

15. その他の注意

15.1 臨床使用に基づく情報

15.1.3 プレドニゾロン経口製剤の投与中に、腸管嚢胞様 気腫症、縦隔気腫が発現したとの報告がある。

〈該当項目なし〉

10. 相互作用

ベタメタゾンは、主としてCYP3A4で代謝される。

10.2 併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等 臨床症状・措置方法 機序・危険因子 非脱分極性筋弛緩 剤 筋弛緩作用が減弱 又は増強するとの 報告があるので、 併用する場合に は、用量について 注意すること。 機序不明。 べクロニウム臭 化物 は、用量について 注意すること。	10.2 州州江思(州州江江思) 000				
利	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子		
〈該当項目なし〉	剤 パンクロニウム 臭化物、 ベクロニウム臭	又は増強するとの 報告があるので、 併用する場合に は、用量について	機序不明。		
	1640				

15. その他の注意

15.1 臨床使用に基づく情報

〈該当項目なし〉

2. 改訂理由

自主改訂

相互作用相手薬との記載の整合及び同一成分含有製剤の記載に合わせるため、改訂致しました。



改訂後の電子添文につきましては、医薬品医療機器総合機構ホームページ(https://www.pmda.go.jp)および 弊社の医療関係者向け総合情報サイト(https://med.sawai.co.jp)に掲載しております。

エンペラシン配合錠



沢井製薬株式会社 大阪市淀川区宮原5丁目 2-30 TEL: 0120-381-999